

1, 後円部墳頂への階段に手すりを設置できないか

手すり土台に必要な深さが盛り土の範囲内であれば可能。
設置位置は、水みちのリスクと墳頂部の工事日程を勘案し検討中。

2, 墳丘部樹木の伐採・剪定について

墳丘部の樹木は【資料 2】の内容で今年度中に伐採・剪定予定。
前方部辺縁から後円部にかけての視野確保はこれにあわせて追加で剪定する。

3, 前方部辺縁のベンチの位置

前回、委員会で意見を頂いた座って後円部を見通せるイメージに即し、前方部辺縁の中心線上に設置する予定。
※視野確保のため、伐採・剪定を行う予定だが、全ての樹木を伐採するのではないため、完全にクリアということではない。

4, 周濠脇タイル舗装箇所の色味について

右画像の色味を予定。

5, 四阿について

前回提示の候補地に遺構がある可能性と工期を考慮し、駐車場ガイダンス施設に機能統合（史跡地内に四阿は設置しない）
なお、前回提示の候補地は土壌流出の懸念があるため、芝生養生を実施予定。



墳頂部から見た樹木の様子



ダークブラウン (BR)

6、寛平法皇陵脇のスペースについて

身障者用駐車スペースとして設定して欲しいとの意見がありましたが、史跡地内であるため駐車スペースとして整備はできませんが、車止めの設置も致しません。

※墳丘側、周濠との段差がない部分については、誤って車両等が乗り入れない様に車止めを設置する予定です。

7、史跡地内の説明・誘導看板について

別添【資料3】

8、周辺施設から史跡地までの誘導看板について

前回の委員会では車両用の誘導看板のみを新設と説明したが、網野銚子山プロジェクトを活用して網野駅およびアミティからの誘導看板を設置予定。（別添【資料3】）

なお、既存、本覚寺前のものは、車両導線の混乱を避けるため、撤去を予定している。

9、オープニングイベントの日程などについて

前回委員会では、史跡指定日の3/8（土）は天候面と日程的に難しいのではと懸念があった。

令和7年4月中の実施を検討していくこととしたい。

【理由】天候的に安定しており、春の観光情報として周知もしやすく（メディアにも取り上げてもらいやすい）現状同時期の市内競合イベントもない。また、工期の影響もない。

10、駐車場から史跡地までの市道の舗装について

舗装を予定しているが、遺構の有無について調査が必要。令和6年春の調査実施に向けて調整を図る。

11、物販品の開発・販売について

文化財保存活用課では商品開発・販売に直接携わることは難しく、基本的に各事業者での実施となるが、今後、商工会等と協議をし調整を図ることや、周知活動には協力できる様検討する。

12、寛平法皇陵祭と古墳祭（仮）について

地域イベントの開催場所として史跡を活用することについては、関係法令に基づきつつ、なるべく地域の活性化に資するよう協力する。

13、施設管理者について

施設（史跡及びガイダンス施設等）の管理は、地元区等に今後協議していくこととなるが、まずは業務内容の頻度と難易度を洗い出し、業務内容を定める。また、勤務体制は委託先と調整する予定。ガイダンス施設のトイレはひとまず施錠せず状況もみて適宜対応する。

（照明は自動、水道は機械時限式。掃除用水道は鍵式水道栓などを検討）

京丹後市文化財保存活用基金



1 京丹後市文化財保存活用基金について

本市の貴重な文化財について、京丹後市文化財保存活用地域計画に基づき、保存及び活用を計画的に推進するにあたり、必要な財源を確保し、当該事業を推進するため、設置するもの。

※京丹後市文化財保存活用地域計画は、「文化財保護法令に基づく指定等の有無にかかわらず、全市域にひろがる幅広い歴史的・文化的・自然的な資産」を文化財と捉え、保存活用の対象としている。計画期間は5年間(R5～R9年度)。

2 今後の基金の積立、活用について(想定案)

(1)積立(繰入)

- ①一般財源から、積立(R5に10,000千円)します。
- ②ふるさと応援寄附金から基金へ積立を行います。
- ③クラウドファンディングを行う際の受け入れ先とします。

2)活用(繰出)

- ・クラウドファンディング等を想定したプロジェクト事業への活用
- ※その他、文化財の修理・修繕や保存・活用に関する新規・拡充事業への活用も検討します。

網野銚子山古墳整備・活用プロジェクト(構想)

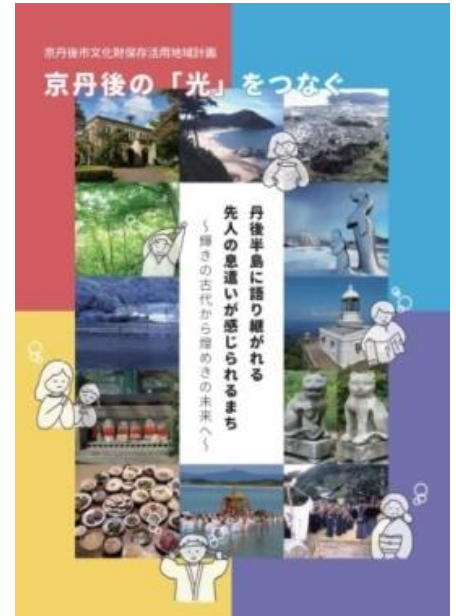
銚子山古墳を積極的に活用し、教育普及および市外からの誘客を図るうえで、従来の補助金等では対象と
ならない施設や受け入れ態勢の整備、周知活動に充てる。

1 施設等整備

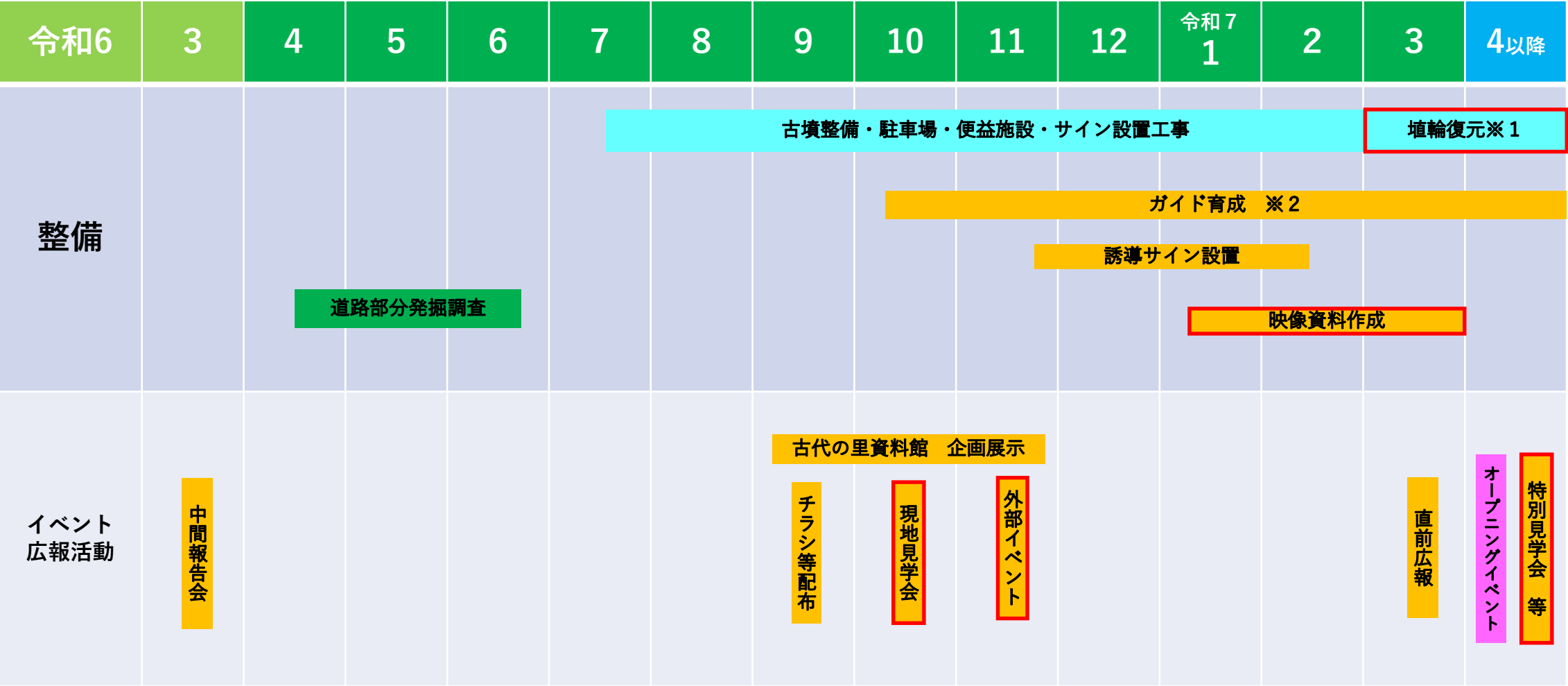
- (1)丹後型埴輪整備 (墳丘テラスに復元埴輪を設置)〈R6～8年度予定〉

2 広報周知・気運醸成・受け入れ(活用)

- (1)映像資料作成 〈R6～7年度〉
- (2)市外での広報周知活動 〈R6～7年度〉
- (3)クラファン支援者向け特別見学会 〈R6～7年度〉



●整備関連スケジュール



●R7 銚子山古墳整備記念展

●R8 湯舟坂企画展

●R9 丹後王国展

ほか、地域計画にある史跡ツーリズム等に繋げていく

※1 網野銚子山PJはR8まで継続予定

※2 ガイド育成は以後継続的に実施

赤枠は網野銚子山プロジェクト関連

◆整備関連

●誘導看板整備

時期：令和6年度中

内容：網野駅やアミティなどから網野銚子山古墳への誘導看板を整備する ※【資料3】参照

●映像資料作成

時期：令和6年～令和7年度

内容：網野銚子山のガイド資料として映像資料を作成する。

看板では書ききれない突っ込んだ内容を映像あわせて。（映像時間は要検討。ARも検討。）

銚子山PJ

●ガイド育成

時期：令和6年度～

内容：地域計画 基本方針1－4に則す。初年度は網野銚子山（＋網野町周辺）に特化して育成してはどうか？

講習範囲・回数・募集方法など要件等。

●ライトアップ

時期：R6年～R7年度

内容：常時なのかイベント限定なのか含めて委員会で検討したい。

●丹後型埴輪整備

時期：R6年～R8年度

内容：復元埴輪を墳丘部全体に拡張する。ふるさと納税のクラファン活用を視野。熊本城復興城主なども参考にする。

銚子山PJ

◆イベント・広報関連①

●中間報告会

時期：令和6年3月下旬（3/23（土） or 3/24（日） 想定）

内容：例年実施してる網野銚子山古墳の整備報告会を想定

●チラシ・ポスター配布 ※市外とあわせて、企画展チラシ費用とは別に

時期：令和6年9月中～下旬

内容：オープン日時・関連イベント情報（※場合によってはガイド育成募集情報も）

チラシ 22,000枚 ポスター 200枚

●古代の里資料館企画展示（市内イベント）

時期：令和6年9～11月

内容：網野銚子山の成果報告を主とし例年定例の企画展示として）

●現地見学会（またはシンポジウム）

時期：令和6年10月下旬、埴輪整備後が理想

内容：古代の里資料館展示企画の一環として現地見学会orシンポジウムを実施

●外部イベント参加 ※京丹後に来訪可能な近隣府県中心に展開することを想定

時期：11月～12月

内容：網野銚子山古墳の史跡整備とオープンイベントの告知を中心に市内史跡のPR

古墳サミット（堺市 パネル・チラシ等参加）古墳フェス（11/24？高槻市 現地参加）

銚子山PJ

銚子山PJ

◆イベント・広報関連②

●パンフレット作成

時期：令和6年度

内容：銚子山古墳の概要を手軽に知るためのパンフレット作成。

●直前広報 ※オープンの費用に含む？

時期：3月末頃 ※資料館まつりでも何かするのであればそれより前

内容：オープンイベン日時・内容をチラシ・広報・HPにて告知（資料館まつりでの配布・市内全戸配布も検討）

●オープニングイベント

時期：令和7年4月で検討する。

内容：テープカット・露店など

※クラファン支援者に招待状をおくる事がふるさと納税の主旨に違反しないかどうかについては、「支援金をこう使いました」という報告を送る際に一緒に送付ということであれば問題ないのではない旨、回答あり（9/20 ふるさと応援推進課上田さん）

クラファン支援者にも個別告知し、記念品（御墳印＋御墳印帖）引換などで誘客を狙う

●古墳周遊ツアー

時期：オープニングイベントにあわせて（以後、随時）

内容：網野銚子山古墳を軸に、神明山古墳・大成墳墓群・黒部銚子山古墳・赤坂今井墳墓などを巡るツアー

観光公社さんに造成協力をお願いしたい。

銚子山PJ

●スタンプラリー

時期：オープニングイベントから8月末

内容：文化財デジタルMAPのスタンプラリー機能を活用し、市内史跡を周遊させる。完走記念品（御墳印）進呈。

銚子山PJ